



変わる時代の確かな視点

News Release

2020 年度特別調査 「第1回 新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」のご案内

株式会社ニッセイ基礎研究所では、新型コロナウイルスの感染拡大によって暮らしが激変する中で、全国の20～69歳の男女2,062名に対して、消費行動や働き方、生活不安の状況などに関する調査を実施致しました。

今回の調査では、①4月頃(緊急事態宣言中)、②現在(緊急事態宣言解除後)、③収束後の3地点の状況を捉えることで、ウイズコロナ/アフターコロナの行動を展望しています。

コロナ禍で加速したネットショッピングやキャッシュレス決済の利用、テレワークといった生活行動のデジタルシフトは、今後も続く見込みです。また、ニューノーマルへの期待もある一方、収入減少などの経済不安は収束後も根強く残りそうです。

なお、ニッセイ基礎研究所では、今後の変化を追跡するため継続して調査を実施する予定です。

<調査結果のポイント(収束後の見込み)>

- ✓ キャッシュレス決済やネットショッピングは約2割が利用増加、デパートやショッピングモールは約4割が利用減少
- ✓ 自家用車や自転車は約1割が利用増加、電車やバスは約3割が利用減少
- ✓ 食事のテイクアウトは約2割、デリバリーは約1割が利用増加、外食は約4割が利用減少
- ✓ 家族と過ごす時間は約2割が増加、交際やつきあい時間は約4割が減少
- ✓ オンライン会議は約半数、テレワークは約3割が増加、出張は約半数、上司や同僚との会食は約3割が減少
- ✓ 感染不安や経済不安は半数を超えて根強い一方、人間関係の不安は緩和
- ✓ 三密を避け社会的距離を保つことの習慣化について、約7割が「そう思う」と回答
- ✓ 来夏に東京五輪が規模の縮小や無観客試合などのない完全な形で開催されることについて、約7割が「そう思わない」と回答
- ✓ 「特別定額給付金」の使い道は過半数が「生活費の補填」、約4分の1が「貯蓄」

調査結果の概要は[こちら](#)から

この件に関するお問い合わせ

ニッセイ基礎研究所「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」担当 久我・井上

pr_corona@nli-research.co.jp

Tel.03-3512-1800

102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 | <https://www.nli-research.co.jp/?site=nli>



RESEARCH